

整形外科で変形性足関節症で手術された方へ 研究協力をお願い

変形性足関節症は場合によって手術治療が必要となります。一般的に重度の変形性足関節症に対しては足関節固定術か人工足関節置換術が行われます。両術式ともに術後成績は良好とされますが、どちらの手術が優れているかはまだ一定の見解を得ていません。高齢化がすすむ本邦では手術患者さんも高齢化しています。しかしながら、高齢者の変形性足関節症に対する手術治療に関しての指針ははっきりしていません。一般に高齢とされる 75 歳以上での手術成績はこれまでに報告がなく、特に本邦では単施設における手術数が少なく、まとまった報告が出にくい状況があります。そこで聖路加国際病院整形外科、神戸大学整形外科（神崎至幸医師）、千葉大学病院整形外科（山口智医師）、帝京大学溝の口病院整形外科（安井哲郎医師）、久留米大学整形外科（野口幸志医師）が協力し合い、後ろ向き研究（今までの手術患者さんのデータを解析して検討）を実施します。

1) 本研究の概要

研究題名：75歳以上における変形性足関節症の手術治療成績

目的：変形性足関節症に対して手術を行った75歳以上の患者さんの臨床成績を明らかにすることです。

方法：これまでに保存されている患者さんの検査や評価などのデータを収集して行う研究です。収集されるデータの種類は体重などから画像検査の情報などです。本研究は、当院の研究倫理審査委員会の承認のうえ実施されます。なお、対象は変形性足関節症に対して手術を行ない、かつ、日本整形外科学会・日本足の外科学会足部足関節疾患評価質問票（SAFE-Q）というアンケート調査を行った患者さんに限ります。

2) 研究情報に関して

患者さんの希望により、他の患者さんの個人情報保護や本臨床研究の実施に支障がない範囲で、本臨床研究の方法についての資料を入手又は閲覧することができます。

4) 個人情報などに関して

他の施設との情報の享受はすべて匿名化されて行います。解析にあたっては、個人情報は匿名化し、その保護には十分配慮します。学会や論文などによる結果発表に際しては、個人の特定が可能な情報はすべて削除されます。

5) 公表に関して

患者さんを特定できないようにした上で、本臨床研究の成果が公表される可能性があります。

6) 任意性

この研究に関して不明な点がある場合、あるいはデータの利用に同意されない場合には、以下にご連絡下さい。

7) 問い合わせ

聖路加国際病院 整形外科 天羽（あまは）健太郎

住所：〒160-0001 東京都中央区明石町9-1

電話：03-3541-5151